

エコアクション21 環境経営レポート



2024年度
運用期間（2024年4月～2025年3月）



SANKYO

SANKYO KOSAN Co.,Ltd.

It's up human beings to protect the environment.

三共興産株式会社

<http://www.sankyo-kosan.jp>

2025年3月31日発行

私たちは、環境保全の
取組を行う事業者を
支援しています



エコアクション21

®環境省

認証番号0007119

目 次

1. 環境経営方針	1
2. 事業・組織概要	2
3. 許可内容	3～5
4. 実施体制	6
5. 環境経営目標及び実績	7
6. 環境経営計画	8
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、 並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画	9～12
8. 環境関連法規等への違反、訴訟等の有無	13
9. 代表者による総合評価と見直し・指示	13
10. SDGs宣言	14

環境経営方針

【基本理念】

三共興産㈱は山口県山陽小野田市に産業廃棄物最終処分場施設を設置し平成7年8月より産業廃棄物の処分業を営んでおり、平成10年11月からは産業廃棄物収集運搬業の許可の取得、一般廃棄物の収集運搬の業も合わせて地域へのさまざまな廃棄物の適正処理方法など環境保全に役立つよう心掛けております。産業経済の発展とともに、産業廃棄物の性状及び廃棄物の複雑化が問題化され排出事業者も適正処理に苦慮しています。

当社は産業廃棄物再資源化を前提に考え、最終処分量を削減に意図した事業活動を行いリサイクルの推進により、地球環境は基より、地域への貢献に配慮した事業活動を行います。

【行動方針】

環境システムを構築・運用し、環境負荷の低減及び環境経営の継続的改善に取り組みます。環境経営方針としても最善のシステムを構築することにより、経営環境の拡大強化を目指します。そのための重点的な下記の取り組み事項を積極的に実施します。

これらを環境目標及び活動計画に定め、実施後も定期的な見直しを行い実施します。

1 二酸化炭素排出削減

使用エネルギー（電気・ガソリン・軽油）の削減に努めます。

特に、収集運搬車の効率的な運転及び処分場内の重機機材の効率的な運転に取り組みます。

2 廃棄物の削減

① 産業廃棄物の適正処理を推進します。

② 産業廃棄物の分別を徹底してリサイクルに取り組みます。

③ 最終処分場搬入廃棄物を削減し、環境保全に努めます。

・排出場所においての、再資源化に向けた分別の推進。

・リサイクル可能な廃棄物に関しては、リサイクル処理方法を提示、リサイクル推進を行う。

・最終処分場搬入廃棄物においては異物混入廃棄物の徹底した展開検査を都度実施。

④ 再資源化に向けた技術・機械の導入に努めます。

3 水使用量の削減

節水を心がけ、水使用量の削減に取り組みます。

4 廃棄物処理等事業活動に関連する廃棄物処理法並びに環境関連法を厳守いたします。

5 車椅子の寄贈・施設周辺の清掃（環境美化）等、積極的に地域貢献に取り組みます。

6 この環境経営方針を、社員全員に周知するとともに、社外に公表致します。

2023年10月26日（改訂日）

三共興産株式会社

代表取締役 岩本 智恵美

・事業・組織概要

事業所名	三共興産株式会社
代表者	代表取締役 岩本 智恵美
所在地（本社）	〒759-0203 山口県宇部市大字中野開作四ノ割381番18
（環境事業部） 安定型最終処分場 中間処理施設	〒756-0039 山口県山陽小野田市大字千崎字小富山10135番3 〒756-0039 山口県山陽小野田市大字千崎字小富山3423番 他23筆 〒756-0039 山口県山陽小野田市大字千崎字小富山135番10
設立年月日	平成4年2月20日設立
事業活動	産業廃棄物収集運搬業及び処分業（中間処理・埋立最終処分） 一般廃棄物の収集運搬業、建設業（解体業）
産業廃棄物事業開始年月日	平成7年8月2日
資本金	2,500万円

・環境管理体制・連絡先

環境管理責任者	岩本 雄大	TEL0836-44-1300 (sankyou-k@bridge.ocn.ne.jp)
最終処分場管理責任者	岩本 誠一	TEL0836-84-7500 (sankyo@klear.ocn.ne.jp)

・認証・登録の対象範囲（全組織・全活動）

対象事業者名	三共興産株式会社
対象事業活動	産業廃棄物収集運搬業及び処分業(中間処理・埋立最終処分)
	一般廃棄物の収集運搬業、建設業（解体業）
対象事業所	本社、環境事業部

・事業規模

事業年度	【 3月～2月 】		
	第32期（2022年） 2022年3月1日～ 2023年2月28日	*第33期（2023年） 2023年4月1日～ 2024年3月31日	*第34期（2024年） 2024年4月1日～ 2025年3月31日
・売上高	576百万円	522.8百万円	555.6百万円
・産業廃棄物収集運搬量	20,390t	25,590t	16,096.7t
・廃棄物処理量	埋立処分：4,009 t	埋立処分：4,512 t	埋立処分：2,419.6 t
	中間処理：17,061 t	中間処理：18,094 t	中間処理：14,751.7 t
・残容量（m3）	156,749.8m3	153,649.8m3	146,736.8m3
・従業員数	23人	22人	20人

*2023年度以降より産廃処理量を行政報告数量に合わせるため、活動期間を4月～3月に変更。

※ 産業廃棄物収集運搬業				※ 許可項目（事業の範囲）																	※ その他		
都道府県 及び 政令都市	積替 保管		許可の年月日 及び有効年月日	許可番号	廃 プ ラ ス チ ッ ク 類	金 属 く ず	ガ ラ ス く ず 及 び 陶 磁 器 く ず	燃 え 殻	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 ア ル カ リ	紙 く ず	木 く ず	繊 維 く ず	動 物 性 残 差	ゴ ム く ず	鋳 さ い	が れ き 類	ば い じ ん	1 3 号 廃 棄 物	積替え保管施設の所在地及び面積 許可の条件	
	有	無																					
山口県 (優良)		●	R 7年2月15日 R14年2月14日	第03506032438号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含み特別産業廃棄物であるものを除く。 ・積替え保管施設なし
福岡県 (優良)		●	R 7年8月16日 R14年8月15日	第04000032438号	●	●	●					●	●						●			石綿含有産業廃棄物を含み、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等を含まない。特別産業廃棄物であるものを除く。 ・積替え保管施設なし	
大分県 (優良)		●	R 7年7月31日 R14年7月30日	第04408032438号	●	●	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●		石綿含有産業廃棄物を含み、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等を含まない。特別産業廃棄物であるものを除く。 ・積替え保管施設なし
※ 産業廃棄物処分業				※ 許可項目（事業の範囲）																	※ その他		
山口県 (優良)	安定型 最終処分 (埋立処分)		R 7年2月15日 R14年2月14日	第03546032438号	●	●	●																施設場所：山口県山陽小野田市大字千崎 字小富山34番 他23筆 埋立面積：18,767㎡ 埋立容量：250,570m ³ 設置年月日・H20年2月4日
	中間処理 (破碎) (移動式を 含む)				●	●	●								●	●	●					●	

(注) (優良)は、優良産廃処理業者認定を示す。

<p>【山口県】【優良産廃処理業者認定】第03516032438号 積替え保管施設なし</p> <p>許可車両（24台）：10tヒアブ車1台、10tダンプトラック7台、7tヒアブ車6台、4tヒアブ車1台、4t箱車5台、2tクレーン車1台、2tパッカー車1台、4tダンプ車1台、2tダンプ車1台。</p>
<p>【福岡県】【優良産廃処理業者認定】第04000032438号 積替え保管施設なし</p> <p>許可車両（7台）：10tヒアブ車1台、7tヒアブ車1台、4t箱車2台、2tクレーン車1台、10tダンプトラック2台</p>
<p>【大分県】【優良産廃処理業者認定】第04408032438号 積替え保管施設なし</p> <p>許可車両（4台）：10tヒアブ車1台、7tヒアブ車2台、4t箱車1台</p>

・処分業許可

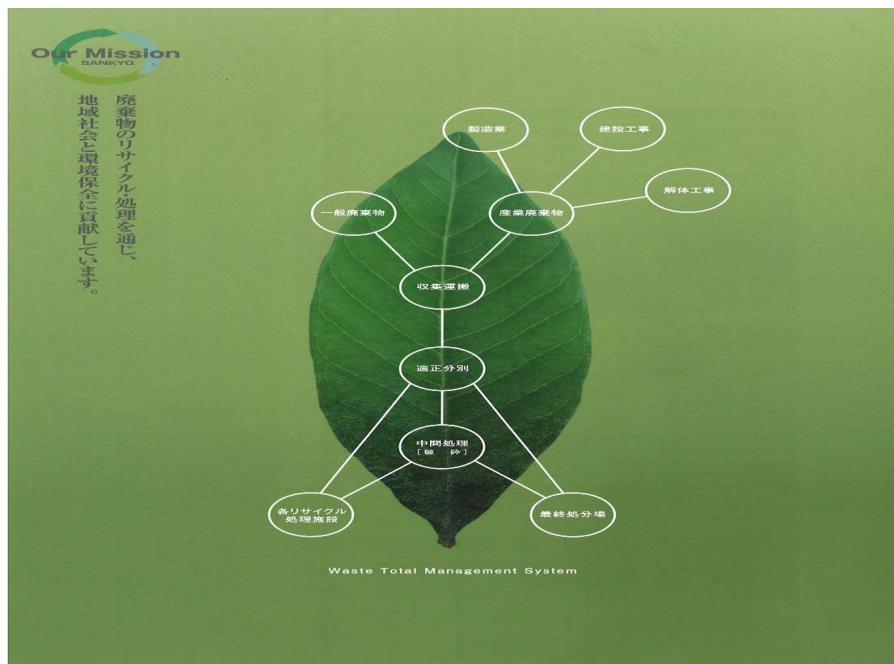
<p>【山口県】【優良産廃処理業者認定】第03546032438号</p>	
<p><最終処分>埋立処分 (許可品目) 5品目 廃プラスチック類、がれき類、金属くず ガラス・陶磁器くず、ゴムくず (処理能力) 250,570m³</p>	<p><中間処分> 破砕（移動式を含む） (許可品目) 8品目 廃プラスチック類、がれき類、金属くず、ガラス・陶磁器くず ゴムくず、木くず、紙くず、繊維くず (処理能力) 廃プラスチック類4.8t、がれき類22.7t、 金属くず4.9t、ガラス・陶磁器くず19.7t ゴムくず10.2t、木くず11.7t、紙くず1.7t 繊維くず0.6t</p>
<p>【処理工程】</p> <p>*再資源利用を心がけ、最終埋立処分廃棄物量の削減に努める。</p>	<p>【処理工程】</p> <p>*廃棄物の再資源・リサイクル化に努める。</p>

*建設業許可・山口県知事（般-2）第20571号

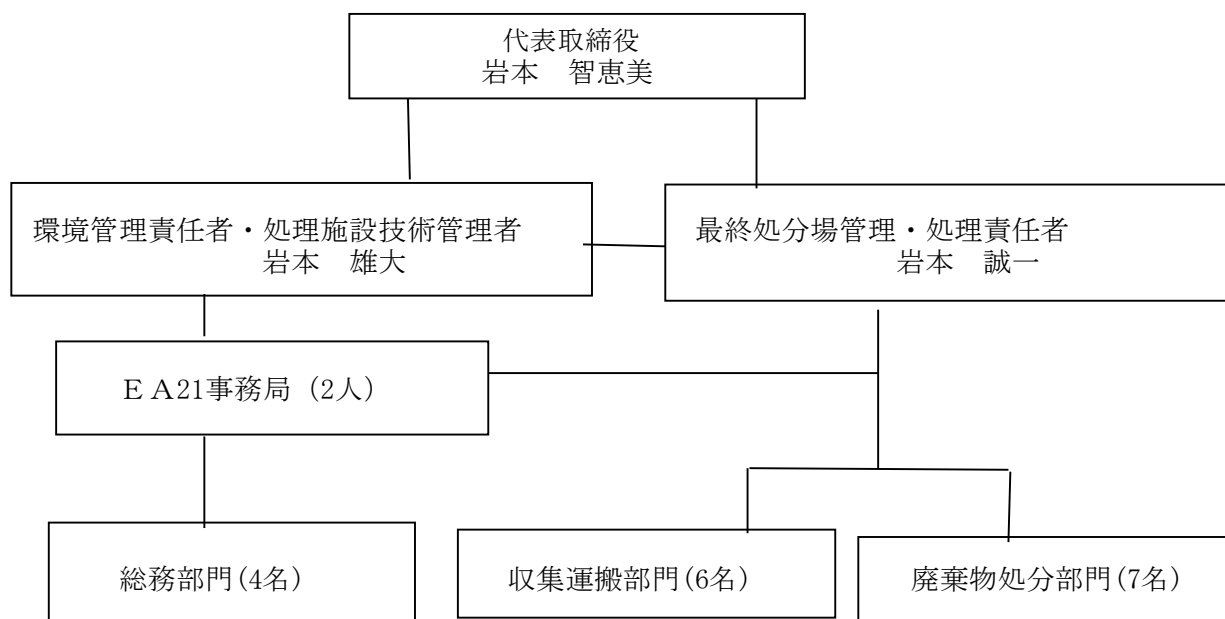
・一般廃棄物処理業許可

許可	宇部市(家) (第161号) 許可年月日: 令和6年4月1日 許可の期間: 令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	山陽小野田市(指令第9号) 許可年月日: 令和6年2月16日 許可の期間: 令和6年3月2日～ 令和8年3月1日	山口市(指令資源第103号) 許可年月日: 令和6年3月7日 許可の期間: 令和6年4月1日～ 令和8年3月1日
許可品目	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物 〔し尿及び浄化槽汚泥〕 を除く 家庭系一時多量ごみ 	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物 〔し尿及び浄化槽汚泥〕 を除く 	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物 〔し尿及び浄化槽汚泥〕 を除く
許可車両	車両5台(塵芥車他)	車両4台(塵芥車他)	車両3台(塵芥車他)
処理工程	<pre> graph TD A[事業所 一般廃棄物] --> B[収集運搬 *適正分別(資源ごみ等)] B --> C[宇部市環境保全センター] </pre>	<pre> graph TD A[事業所 一般廃棄物] --> B[収集運搬 *適正分別(資源ごみ等)] B --> C[山陽小野田市 環境衛生センター] </pre>	<pre> graph TD A[事業所 一般廃棄物] --> B[収集運搬 *適正分別(資源ごみ等)] B --> C[山口市清掃工場] </pre>

*令和8年度・一般許可更新



B-5 : EA21実施体制



所 属 (役職)	役割・責任・権限・使命
代表取締役	全体の統括、環境方針の設定、環境への取組みを実施する為の準備、全体の評価と見直し
最終処分事業部責任者 (取締役)	全体の把握及び環境管理者として、環境経営システムを構築、運用しその状況を報告する。
E A21委員会	半期に一回相当開催し、環境目標の達成状況及び活動計画の実行計画を審議する
E A21事務局	E A21文書及び記録類の作成・維持・管理
E A21事務局	E A21文書及び記録類の作成・維持・管理の補佐
総務部長	電気、水消費量の管理
総務部	車燃料 (ガソリン・軽油) 消費量等 管理 廃棄物処理量の集計
収集運搬部 (主任)	産業廃棄物収集運搬におけるエコドライブ等の推進・車両整備管理 運搬車両の配車計画
処 分 部 (主任)	産業廃棄物処分における適正処理、重機機材の燃料削減施設の整備管理

2024年度 環境経営目標と実績

環境経営目標		単 位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度		2025年度	2026年度	2027年度
			実績	実績	実績	実績	目 標 *(基準)	実績達成	目 標*	目 標*	目 標*
1	二酸化炭素 排出量	kgCO2	533,454	467,404	423,400	374,631	374,631	303,824 ○	303,824	303,824	303,824
1-1	電気使用量	kWh	28,431	29,119	29,564	28,104	28,104	26,485 ○	26,485	26,485	26,485
1-2	ガソリン使用量	ℓ	5,762	5,782	5,988	5,443	5,443	5,209 ○	5,209	5,209	5,209
1-3	軽油使用量(運搬・機械)	ℓ	130,894	109,832	103,454	90,907	90,907	77,314 ○	77,314	77,314	77,314
1-4	軽油使用量(場内)	ℓ	60,000	55,700	49,300	43,729	43,729	30,415 ○	30,415	30,415	30,415
2	自社発生廃棄物 (一般廃棄物)	ton	3.4	3.8	4.0	3.4	3.4	3.2 ○	3.2	3.2	3.2
3	受託廃棄物のリサイクル率	%	68	66.5	61	61.8	61.8	66.6 ○	66.6	66.6	66.6
4	水使用量	m3	477	488	416	451.5	451.5	354.0 ○	354	354	354
5	地域貢献 (車椅子寄贈) 会社周辺の清掃 (施設搬入路の清掃)	実施回数	4回/週	4回/週	4回/週	4回/週	4回/週	4回/週	実施	実施	実施

備 考

*二酸化炭素排出量の排出係数(調整後排出係数):中国電力株式会社 2020年度 0.521(kg-CO2/kWh)を用いる。

*化学物質は使用しません。

*基準年度を前年度実績とし、次年度および中期目標は“維持”とする。

全項目を前年度(2023年)実績数値を目標にする。

*リサイクル率=(リサイクル・再生中間処理量÷全受入処理量)×100

環境経営計画とその実施状況の確認

2024年度

1. 二酸化炭素総排出量(前年度実績を維持)

取組目標	活動項目	責任者	定着 要継続 要改善	年度末 改善量 (円/年)	スケ ジュール	計画と判定																
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
1 電力使用量の削減	1-1	エアコン設定温度を決め、実行する	各事務所	定着	—	—																
	1-2	エアコンのフィルター清掃	各事務所	要継続	マイナスなしに	6、12月			済											済		
	2	昼休みの消灯	各事務所	定着	—	—																
	3	残業時の不要な照明の消灯	各事務所	定着	—	—																
	4	長時間席を離れる時パソコンの電源OFF	各事務所	定着	—	—																
	5	高効率蛍光灯、LED照明機器の導入	各事務所	定着	—	—																
	6	不要電力消費抑制(不要な場合は機械を止める)	小野田	定着	—	—																
7	エアコンのフロン排出抑制及び節電の為に点検(室内機・室外機)	本社	要継続	—	3ヶ月毎			5月済													2月済	

取組目標	活動項目	責任者	定着 要継続 要改善	年度末 改善量 (円/年)	スケ ジュール	計画と判定																
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
2 ガソリン・軽油・使用量の削減	1-1	省エネドライブ・車両整備(オイル交換)(タイヤ空気圧点検)	営業・小野田	定着	—	—																
	1-2	アイドリングストップの励行(全車)	営業・小野田	定着	マイナスなしに	—																
	2	配車計画・搬送方法の効率化、作業の効率化	小野田	定着	—	—																
	3	営業先打合等の合理化	営業部	定着	—	—																
4	効率的作業運転の見直し(重機)	小野田	定着	—	—																	

2. 自社発生一般廃棄物(前年度実績を維持)

取組目標	活動項目	責任者	定着 要継続 要改善	年度末 改善量 (円/年)	スケ ジュール	計画と判定																
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
1 紙使用量の削減	1	再生紙の推進・裏紙使用・印刷時のプレビュー確認	本社	定着	—	—																

3. 受託廃棄物のリサイクル率(前年度実績を維持)

取組目標	活動項目	責任者	定着 要継続 要改善	年度末 改善量 (円/年)	スケ ジュール	計画と判定																
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
1 リサイクルの推進(再資源)	1-1	廃棄物の分別化の徹底	小野田	定着	—	—																
	1-2	リサイクル化処理の推進・設備	小野田	定着	マイナスなしに	—																

4. 水使用量の削減(前年度実績を維持)

取組目標	活動項目	責任者	定着 要継続 要改善	年度末 改善量 (円/年)	スケ ジュール	計画と判定																
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
1 水使用量の削減	1-1	洗車・埃散水時の水使用の節水工夫(ホース水圧)	小野田	定着	—	—																
	1-2	掃除使用水はバケツ使用、捨て水は花壇水に使用	本社	定着	マイナスなしに	—																

5. 地域貢献

取組目標	活動項目	責任者	定着 要継続 要改善	年度末 改善量 (円/年)	スケ ジュール	計画と判定																
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
1 車椅子寄贈	1-1	車椅子の寄贈	本社	定着	—	—																
	1-2	地域との交流活動	本社	定着	マイナスなしに	—																

6. 会社周辺の清掃

取組目標	活動項目	責任者	定着 要継続 要改善	年度末 改善量 (円/年)	スケ ジュール	計画と判定																
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
1 会社周辺の清掃	1-1	会社周辺の清掃	本社	定着	—	—																
	1-2	廃棄物の飛散防止の為に、施設内の点検確認 車両搬入路の速度制限、搬入道路周辺の清掃	小野田	定着	マイナスなしに	—																

環境経営計画の取組結果その評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画



当年度の取組結果と次年度の環境活動計画（取組）

1. 二酸化炭素排出量の削減

* 二酸化炭素排出量の削減計画目標は目標達成できた。

エネルギー使用各項目は目標値基準よりすべて削減でき達成した。使用量の削減に向け、作業内容などや、エコ運転や無駄のない効率作業を常に考慮し、各項目の使用量を抑えるよう次年度も二酸化炭素排出量削減に努め努力して欲しい。

① 電気使用量

結果は達成できた。使用量は前年と比較しても使用量は大体安定しているように見える。夏冬期の他月も電気使用は削減出来ており、エアコン温度、電気照明使用の努力が見える。次年度は取組を継続しながら、電気使用無駄を無くして取り組みたい。

② 燃料使用量（ガソリン・軽油（場内・運搬））

ガソリン・軽油使用量は今期も目標達成できた。エコ運転・配車計画の合理化を基本として各自取組んでおり、継続していく。

埋立最終処分廃棄物量もリサイクル重視により昨年度より削減している。場内重機使用量も削減達成できている。次年度も作業効率を徹底し無駄なく作業するよう取組活動を続けていく。

車両軽油使用量も大きく削減できた。毎月の使用量増減は、運搬引取場所により違い把握は難しく、車両管理に重点におき活動項目を続けたい。燃料使用料は業務量の増加及び売上にも関係するため一概に削減と結び付けないが、配車予定計画の重要性、配車担当やドライバーの連系を生かす取組みを引き続き行う。

2. 自社発生廃棄物（一般廃棄物）

一般廃棄物量は削減できた。ペットボトル、飲料容器の缶類も極力購入を控え。ダンボール等は再資源化、紙削減は裏紙使用と取組を続けている。今後も削減活動は継続する努力をしていく。

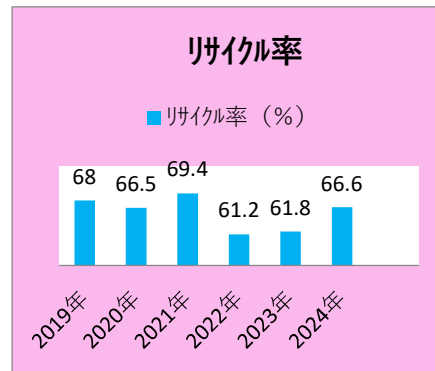
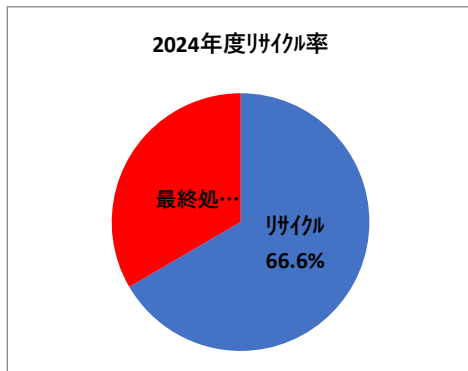


3. 廃棄物のリサイクル率

リサイクル率は2022年2023年の結果と比べて大きく向上し、達成できた。再資源化、廃棄物の分別を排出事業社に向けた努力を評価したい。その結果は地域貢献へと結びついている。廃棄物抑制の事業活動、取組みは今まで通り続けて欲しい。大変評価している。

* 廃棄物のリサイクルの重要性、最終処分廃棄物削減の重要性、要は廃棄物の分別・仕分である。

リサイクル率の実績



4. 水使用量

水使用量削減は目標達成できた。

* 水使用量は、前年多い月の使用量がかなり減ったのが要因だと思う。

作業場内の埃防止、施設前の道路の散水は池の水を基本的に利用。洗車においても継続して節水を呼びかけている。水使用の際はこまめに元栓をしめ無駄のない使用をする。



5. 会社周辺の清掃

目標通り活動して周辺道路及び施設内はいつもきれいな状態である。

今後も周辺道路及び施設内の環境美化に積極的に取り組み、清掃活動を行う。



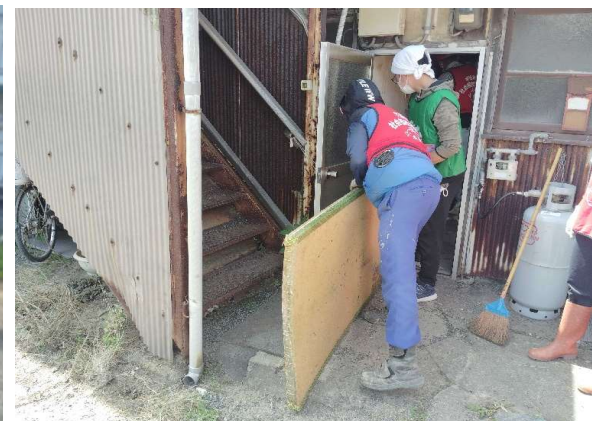
6. 地域貢献

車椅子寄贈、社会貢献及び地域の皆様をご支援できる事業の維持継続をする。

今期も子供用、大人用の車椅子等を寄贈しており、利用される方々の不便さの軽減を考えると、大変喜ばしく思っております。



* 2015年から車椅子寄贈が始まり、継続寄贈出来ている事は会社、社員の誇りです。寄贈車椅子は社会福祉協議会を通じて、貸出をしていて必要な方に利用されています。
* 2024年9月、社会福祉協議会の大雨災害被害による家屋の廃材運び出しの災害ボランティアとしてお手伝いをしました。今後も地域貢献できるよう事業活動に精進します。



* 施設近隣地域の皆様との交流
お手伝いも積極的に取り組んでいます。



社会福祉協議会
とは

暮らしの相談・
支援

地域福祉活動

ボランティア

貸出しのご案内

地域公益活動推
進協議会

トップ > お知らせ > 三共興産株式会社様

お知らせ

カテゴリアーカイブ

お知らせ

採用

募集

寄付

災害

活動レポート

地域ニュース

月別アーカイブ

2025年

2025年4月 (1)

2025年3月 (17)

2025年2月 (13)

2025年1月 (14)

2024年

2023年

目的から探す

知りたい

相談したい

参加したい

三共興産株式会社様

2024/12/17

寄附



12月17日（火）に三共興産株式会社様から、車椅子を10台ご寄贈いただきました。
三共興産株式会社様は、産業廃棄物、一般廃棄物の収集運搬、分別、処分などの事業を行う会社として、廃棄物の分別による再資源化に取り組まれています。同社の岩本常務取締役様からは、「この活動は、お客様から委託された廃棄物の中から有価物を選別採取し、売却して得た収益で行っており、私たちだけでなく皆さんの想いも込められています。」といったありがたいお言葉もいただきました。本会では、平成26年度から11年連続でご寄贈いただいております。あらためて多大なるご支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。寄贈いただいた車椅子は、本会の地域福祉事業（市民への車椅子の貸出用や福祉教育学習など）に活用させていただく予定です。誠にありがとうございました。

お問い合わせ

総務課 総務係
TEL : 0836-33-3131 FAX : 0836-22-4393

お知らせコーナー

貸出

無料で貸出をしています!

市民の皆様や企業様等からご寄贈いただいた福祉機器等を、必要としている市民の方々へ無償で貸し出しを行なっています。(宇部市在住の方に限ります。)貸出期間は、年度内60日以内となります。

- 車椅子
- 歩行器(歩行補助車を含む)
- 杖(松葉杖、T字杖、四点杖)
- 入浴椅子 ● 車椅子クッション
- フレクストーク



ただし、本会賛助会員等は60日を超えての貸出ができますので、お問い合わせください。

【問合せ先】

総務課 総務係
TEL 33-3131 FAX 22-4393



貸出

福祉車両で
おでかけしませんか?

車椅子等を使用しなければ外出が困難な市民の方に福祉車両の貸し出しを行っています。

- 貸 出 / 原則1ヶ月に1回
- 貸出時間 / 8時30分～17時00分
- 使用料 / 無料

※使用した燃料費等は自己負担



【問合せ先】

生活支援課 生活支援係
TEL 33-3150 FAX 22-4391



社会貢献活動のご担当の方！

企業の社会貢献活動を お手伝いします！



これから
活動を始めたい！

もっと地域と
つながりたい！

今の活動を
広げたい！



自社のことを
知ってほしい！

宇部市社会福祉協議会では、「誰もが自分らしく暮らせる地域社会」をめざし、**社会貢献活動を実施したい企業と地域の困りごとなどを結びつける事業**を行っています。本会に登録をしていただくことで、地域に貢献できる機会をご紹介します。

活動実施企業の声

三共興産株式会社 様

・活動内容

会社周辺の清掃をはじめとした環境活動
宇部市社協等への車いすの寄贈



寄贈の度に新聞記事にさせていただいているおかげで、『良いことをしたね』『素晴らしい活動だね』と知らない方からお褒めの言葉をいただくこともあります。この取り組みにより人と人が分け隔てなく手を取り合っ
て共存していく懸け橋になればと心から願っています。



常務取締役 岩本氏




環境関連法規等への違反、訴訟等の有無

- ・環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありません。
- また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟や苦情もありません。
- * 産業廃棄物処分場水質検査報告書を毎年地区土地改良区及び処分場設置地区自治会へ報告・検査書類を提出して信頼関係を保っております。

主な環境関連法規等	遵守状況
廃棄物処理法	○
建設リサイクル法	○
建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル	○
資源有効利用促進法	○
大気汚染防止法	○
フロン排出抑制法	○

代表者による総合評価と見直し・指示

- * 今期は、全活動項目すべて達成することができ大変評価したい、目標達成は活動努力の成果と思う。前年度値を目標とすることにより、事業経営の動向もみえ、また活動においても従業員の意欲が出る。全体的に現在の取組は良好だと思えます。今後も努力を続けて欲しい。

- * 二酸化炭素排出量は目標達成となった。全従業員の活動と努力を評価する。 次年度も使用エネルギー各項目削減し二酸化炭素の排出削減に向けた努力を期待する。
- * リサイクル率も大幅に達成。リサイクル、再資源に向けた活動を評価する。
- * 一般廃棄物量削減は達成。ダンボール、ペットボトル、缶類再資源リサイクル等実施。 廃棄するような品物は出来るだけ抑えている、無駄をなくす取組の継続維持。今後も紙1枚でも生かす努力、考慮しながら継続。
- * 水使用量削減も目標達成。夏期の使用量が増加(花壇の水やり、洗車等)。節水意識を持って使用する。猛暑での場内作業の熱中症対策としてミストも必要と考えている。
- * 社会貢献活動の車椅子寄贈も継続。災害ボランティアも活動。 微力ながら皆様に喜んで頂いたことを評価。今後も地域貢献できる取組を継続する。

全体的に削減に向けた活動を評価。次年度の見直し、変更の必要はない。

社員一人一人がSDGs宣言の下、目標達成に向け省エネ対策、再資源化を実施していきます。社員が健康で安心して働ける職場環境づくりを目指し、生産性向上に繋げて参ります。寄付活動を通して地域の方々に信頼される企業を目指していきたいと思えます。





三共興産株式会社 SDGs宣言

当社は、「人に、地域に、地球に貢献する。」という経営理念のもと、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2022年6月10日
三共興産株式会社
代表取締役 岩本 誠一

重点項目(ターゲット2030)

一貫したサービスによる付加価値提供

建造物の解体工事から廃棄物の収集運搬、中間処理、最終処分までの一貫した自社処理システムの確立により、業務の効率化・時間短縮によるコスト削減と高い信頼性を実現してまいります。

【主な取り組み】

安全基準・設計基準・事故防止マニュアルの作成、収集運搬から最終処分までを一貫して対応する「産業廃棄物トータル管理システム」の確立



環境負荷低減に向けた取り組み

循環型社会の実現に向けて、環境活動を推進してまいります。「廃棄物は資源」という視点に立って削減目標を掲げ、目標達成に向けて省エネ対策・再資源化を実施してまいります。

【主な取り組み】

エコアクション21の認証取得、エネルギー使用量の把握、削減目標の設定、MSDS・WDS(データシート)徴求による汚染物質の搬入防止、リサイクル路盤材の販売



継続的な地域活動による社会貢献

寄付活動を通して地域の高齢者や障害者を支援してまいります。地域社会の一員として、当社の基盤を共に築いてきた地域への恩返し気持ちを忘れず、企業活動に努めてまいります。

【主な取り組み】

社会福祉協議会への寄付・車いす寄贈
会社周辺の清掃活動、粉塵抑制対策のための散水
地元人材の採用、災害時マニュアルの作成



1人ひとりに寄り添った職場環境づくり

社員の意見・要望を広く聞き入れ、社内環境の改善に努めます。社員が個性や能力を最大限発揮し、健康で安心して働くことができる職場環境づくりを目指すことで、生産性向上につなげてまいります。

【主な取り組み】

社員の要望を取り入れた社内体制・施設等の改善
資格取得費用負担、職務や役割に応じた研修の実施
個性や能力を引き出すための配置や業務見直し



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性別、働き方などのさまざまな問題が顕在化中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。